

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
 担当課長名：斉藤 親

事業名 うめづうずまさせん 梅津太秦線	事業区分 街路	事業主体 京都市
起終点 自：京都市右京区常盤東ノ町 至：京都市右京区太秦一ノ井町	延長	0.5km

事業概要
 都市計画道路梅津太秦線は、高辻通から丸太町通に至る計画延長2.1kmの京都市西部の主要幹線道路である。本事業区間は、現道部の幅員が狭く、またJR山陰本線踏切部で交通渋滞を惹き起こしていることから、鉄道を高架化（高架化延長L=0.89km）し、踏切を除却（除却箇所3箇所）するとともに、丸太町通以南の延長0.53kmの街路整備を行うものである。

事業の目的、必要性
 京都市西部地域は南北幹線道路の整備が遅れており、また東西に走るJR山陰本線の踏切部での交通遮断が交通ネットワークの形成に支障をきたしている。本事業は、鉄道を高架化し踏切を除却するとともに街路整備を進めるものであり、観光名所が点在する京都市西部地域の交通渋滞の解消と都市交通の円滑化に資するものである。

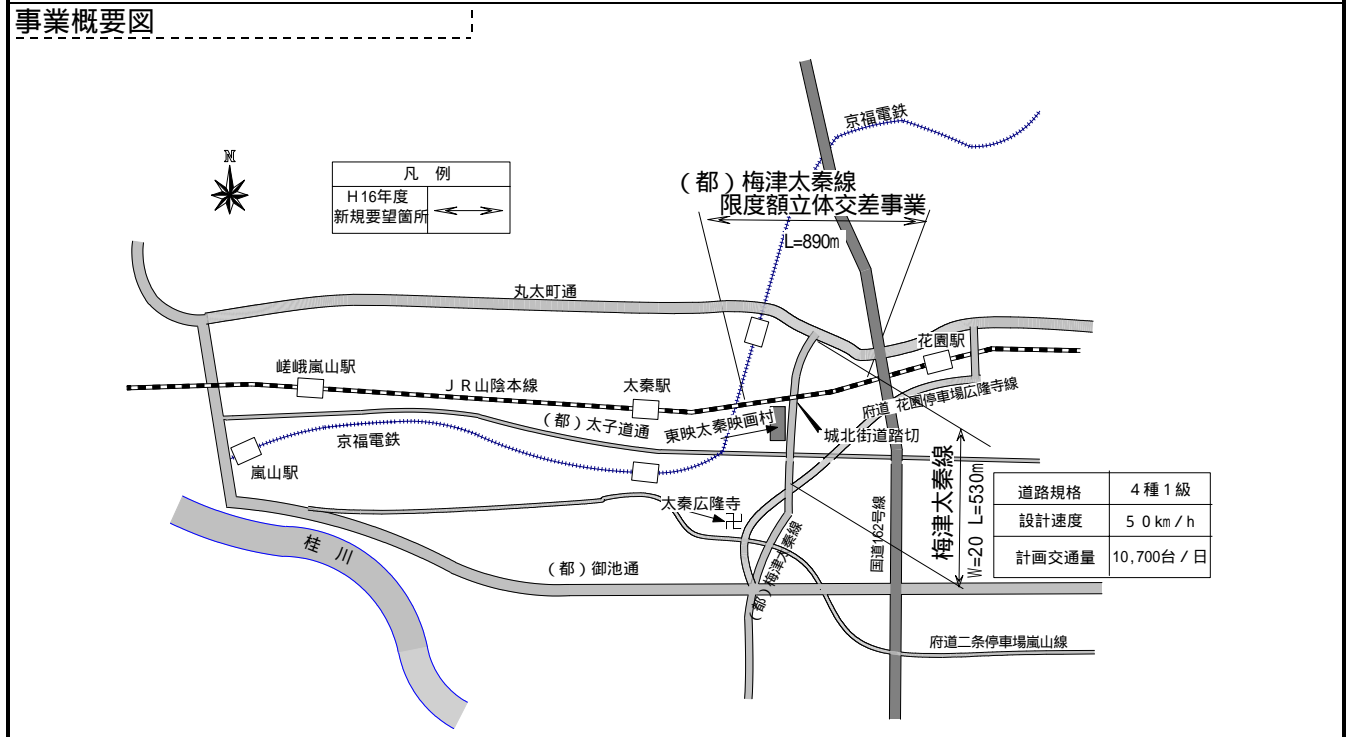
全体事業費：81億円 | 踏切交通遮断量：36,400台時/日 | 計画交通量：10,700台/日

費用便益分析結果 B/C 3.7	総費用 75 億円 事業費：74 億円 維持管理費：1 億円	総便益 279 億円 走行時間短縮便益：262 億円 走行費用減少便益：16 億円 交通事故減少便益：1 億円	基準年 平成15年度
------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却）
- ・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する）
- ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する）
- ・災害への備え（密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす）

関係する地方公共団体等の意見
 ・地元より右京区域の交通渋滞及び地域コミュニティ分断の解消のための早期事業化の要望がなされている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。